



遠藤 正信 議員

水害後に注意すべき二次災害

9月10日、関東・東北豪雨災害に伴う人体への二次感染対策について

議員

肺炎球菌、インフルエンザ、破傷風といった感染症について、市は対策を考えているか。

保健福祉部長

肺炎球菌については、24年10月から国に先駆け、市独自による助成を実施しており、今後も継続していきたい。今回の災害による避難所でのインフルエンザ対策として、11月14日にあすなろの里で希望者を対象に集団予防接種を実施した。破傷風予防として、作業時の服装、けがをしたときの傷口の洗浄について注意喚起を実施してきた。

議員

肺炎球菌の助成は、暫定的なものなのか。

保健推進課長

交付要綱があり、それがあ限り引き続き実施していく。

議員

今65歳以上の高齢者数ほどの程度いらっちゃって、どれくらい肺炎球菌の補助を受けて接種をしているか。

保健推進課長

4月1日現在、65歳以上の高齢者は1万6860人で、24年10月から今年9月までで2682人に助成をしている。

議員

せつかくこういう施策があるわけだから、広くPRをしていただいで、重篤にならず健康寿命を全うしていただきたい。インフルエンザについてはどうか。

市長

今年から小学生と乳幼児については予防接種を2回実施するようになった。年々対象範囲を広げ、回数もふやしている。

議員

今年は、水害があったので環境は劣悪な状況である。市長には英断をもって対策をしていただきたい。

国立感染症研究所が注意喚起を示した感染症

レジオネラ症 レジオネラ菌により、肺炎を起こす可能性がある
レプトスピラ症 発熱、悪寒、下痢などの症状を引き起こし、治療が遅れると重篤な状態になる可能性がある
破傷風 けがの傷口から破傷風菌が感染し、早急に治療しない場合、激しいけいれんを起こして、呼吸が困難になる致死性の疾患
様々なウイルスによる急性呼吸器感染症 発熱、喉の痛み、下痢、咳などの様々な症状を引き起こす
急性胃腸炎、急性下痢 発熱、嘔吐や下痢などの症状が見られ、排泄物や吐しゃ物から二次感染が起こる可能性がある

〇 〇 〇 〇 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 〇 〇 〇 〇



遠藤 章江 議員

行政がやるべきこと本来の姿とは？

関東・東北豪雨災害における行政対応ならびに今後の行政運営について問う

議員

21年に作成されたハザードマップ。これを改正しなければならぬ時期があったはずだが。

市民生活部長

今現在、私は把握していない。

議員

25年に特別警報が運用になったときである。今回の災害を教訓にし、職員が実際に現場を歩きながら、新たなハザードマップを作成してもらいたい。次に、役所で夫婦共に働いている方、母子家庭の方は何人いるか。

人事課長

東部地区で、夫婦勤務が10組、母子家庭が4組である。

議員

家にひとり残されたお子さんが犠牲になっては大変なことである。職員の家庭状況を把握して動員体制を組んでもらいたい。次に、防災協定について問う。今回、薬剤師会は消毒薬を配るなどかなりの活動を行った。数年前から薬剤師会と防災協定を結ぶようお願いをしていたが。

市長

今後、薬剤師会とも協定をしっかりと結んでいきたい。

議員

命にかかわるような組織との協定は早急に結ぶようお願いしたい。今回、三坂地区は国の激甚災害指定を受け農業用予算が入るが、国費を使って一旦優良農地に戻し、復興したと同時にアグリサイエンスバレー構想で民間の利益になるような事業を展開するのはいかがなものか。

市長

インター周辺開発は将来の常総市の発展にとって大事であり、復興計画の中長期的な一つの柱にしたい。

議員

復興というのであれば、この構想は一旦凍結したほうがよいのではないか。命と暮らしを守る事業を優先的にやるのが本来の市長の姿である。



トルコキキョウ 花言葉「希望」